

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： グループホーム出東ララ
施設種類： 認知症対応型共同生活介護
日 時： 令和7年4月 11日（金） 14：30～16：00
会場：
グループホーム出東ララ
出席者

出雲市役所 職員	1名
高齢者あんしん支援センター 職員	2名
地域住民代表	2名
その他（理事長、事務長、施設長）	3名

- 1・あいさつ 法人理事長
- 2・自己紹介
- 3・施設からの報告（資料添付）
現状報告・ヒヤリハット報告・令和7年度事業計画・外部評価報告
- 4・出席者からの意見

【運営推進委員】

- ・ヒヤリハット、事故報告の中で薬について報告が上がっていますが、どう区別されているのでしょうか。

【施設から】

- ・薬局さんが配薬された薬を、その日の職員がその日のケースに配薬しますが、その時点で日にちが違っていたり、服用していただいた後に床に錠剤が落ちているのを発見したりというようなケースがありました。チェック時に間違いに気づいた場合はヒヤリハット報告で報告し、床に落ちていた。という様な起きてしまった事については事故報告を提出して周知しています。転倒についても同様で、危ないと感じたこと、転倒の危険性がある事はヒヤリハット報告を、けががあった、なかったに関わらず、転倒された場合は事故報告を提出しています。

【運営推進委員】

- ・令和7年度の事業計画の中で、職員の人材確保についてあげてありましたが、デジタル化とはどのようなことでしょうか。

【施設から】

- ・現在、介護記録等を手書きでしておりますが、この記録をタブレットやパソコンソフトに繋げて、データーを取りやすくしたり、保存にも簡潔にしていきたい事から、デジタル導入を前向きに考えている所です。

【運営推進委員】

- ・命に関わるお仕事の中、常に考えて行動されていることに職場の努力を労いたいです。

【施設から】

- ・ありがとうございます。地元地域の方からの生の声を聴き、これからの業務に励みが出ます

施設職員にも伝えていこうと思います。

【行政】

- ・木造の建物で温かみを感じたり、利用者さんの歌声なども今、聞こえており良い雰囲気だな。と感じていました。

【施設から】

- ・午前は 10 時～と午後は 14 時過ぎ～皆さんと一緒にお経をあげたり、体操やゲーム、頭の体操などの活動をしています。皆さん、楽しまれており穏やかな時間を過ごされています。

【あんしん支援センター】

- ・実績報告の中で、ヒヤリハットや事故報告書両方に上がっている内容を教えてください。

【施設より】

- ・**ヒヤリハット**：服用されたはずの薬が、お膳の上に出しておいてあった。センサーマットのスイッチを入れ忘れていた。利用者間のトラブルが引き起こしていたなど
事故報告：床に落ちていたごみを拾おうとして尻もちをつかれた。薬局から配薬された薬が錠剤が入っていなかったなど。です

【あんしん支援センター】

- ・利用者様を墓参りにお連れすることなど取り組まれていて良いことだな。と思いました。

【施設より】

- ・利用者様ひとり一人に行きたい所があり、希望があればなるべく実現していきたいと思っています。他に、ご高齢で中々外出が出来ない方にはご自宅へ一時帰宅をして頂いた事もありました。今後もその方にあった外出等を企画していきたいと思います。

【施設より】

- ・災害時に備えての備蓄品を確保計画や BCP の計画に沿って施設内で保管していますが、保存量が多く、この度専用の保管庫を設置することになり、準備中ですが他施設ではどのように保管されているのでしょうか。

【行政】

- ・そのような問い合わせはないですが、何か情報があればまた、聞いてみます。

【施設より】

- ・グループホームで設置しなければならない委員会を再度確認したいのですが、どうでしょうか。

【行政】

- ・確認し、お伝えします。

外部評価の内容を項目別に施設から説明し、委員の方からご意見をいただきこの回を閉会した。

*次回開催日 : 令和 7 年 6 月 13 日 (金) 14:30~16:00
対象施設 : 出東デイサービスセンター・グループホーム出東ララ
開催場所 : 出東デイサービスセンターはなはうす